

平群町ボランティア連絡協議会

平群町の紹介

世帯数：7,681(世帯)

人口：20,519(人)

高齢化率：16(%)

地域特性：大阪への通勤圏として丘陵地の住宅開発が進む。特産物の花卉や野菜・果樹の栽培などが盛ん。



平群町ボランティア連絡協議会



▽ 阪神淡路大震災の翌年、平成8年9月に設立

▽ 23団体が住みよいまちづくり、地域づくりに貢献



信貴 生駒山系と竜田川

平群町ボランティア連絡協議会の活動指導案

- (1) 命を守る防災すきん作り
- (2) 「竹あかりの集い」
- (3) ペットボトルでメッセージボトル作り
- (4) 災害に備えて男性のおにぎり作り
- (5) ホームページで情報発信



竹あかりの集い

阪神淡路大震災の
犠牲者の冥福を祈る

ボランティアの輪を
広げる

防災の意識を
高める

第7回 竹あかりの集い
2010年1月16日(土)
午後2時～6時



あかりを灯して、心をひとつにつなぎ
安全で安心な町を願う





地震体験

煙体験

防災用具
パネル展示

防災を目に見える形で

- ✔ オリジナルな防災ずきんの作成
- ✔ ボランティアの手作り
- ✔ 町内4小学校へ備品として寄贈
- ✔ 6年間継続してすべての小学生へ贈る（180枚/年）



試作の出来上がり！

中学校との連携

「家庭科室のミシンを使わせてもらえませんか？」

「生徒にも手伝わせてもらいたい。
中学生を地域に関わらせたいと思っていたが...。
これを一緒にやりましょうとの具体的な提案がありがたい」

中学生を指導しながら一緒に作ることに





防災訓練で活用



4年後には全生徒を防災ずきんで守ることができる

今後に向けて

学校との連携を強化

- ◆ 中学校の授業の中で
- ◆ 奈良産業大学と連携

保護者や住民を巻き込んで

幼稚園児・高齢者へ

平群町自主防災連絡協議会の 構成団体として

黄色い防災ずきんが、安全で安心な町のシンボルになるように

平群町ボランティア連絡協議会

平群町ボランティア連絡協議会は、ボランティア団体の相互の連絡や情報交換の推進を図り社会福祉の向上に役立つことを目的としています。
現在、4つの分野で23団体が自発的に、楽しみながら活動をすすめています。

最新情報

- ★3月15日(月)ほほえみミスター編纂会を開催しました。
- ★2月24日(金)食生活改善推進員協議会が平群幼稚園で食育授業を開催しました。
- ★1月28日(木)平群西小学校に防災ずきんを贈り、遊藝訓練を行いました。
- ★1月18日(水)「竹あかりの集い」を開催しました。
- ★2019年1月10日(日)住吉産業団地の「産業の町」分庁舎に参加しました。
- ★12月19日(土)竹筒500本作りました。
- ★12月18日(水)林道整備の入り口を緑豊しました。
- ★12月18日(水)「防災ずきんの結入」を行いました。
- ★12月15日(水)「竹あかりの集い」実行委員会を開催しました。
- ★12月8日(水)「竹あかりの集い」に使用竹を切り出しました。
- ★平群中学の生徒と一緒に、防災ずきんのシンク作りをしました。
- ★10月21日(水)、防災ずきんの結入しました。
- ★9月14日(日)、奈良県「安全・安心ネット」事業「研修会」に参加しました。
- ★9月8日(日)、平群町主催「ふるさとベリタリーアップ作戦」に参加しました。
- ★8月2日(水)奈良県主催の「自主防災」防災に関する講演会に参加しました。
- ★8月19日(水)「竹あかりの集い」実行委員会を開催しました。

ボランティア団体の紹介

- 在平介護者家族の会
- 茶話やまの会
- 食生活改善推進員協議会
- カームスイング

「食生活改善推進員協議会」が平群幼稚園で食育授業を開催しました。
フレットで作った野菜やくだものから「11つも食べている野菜3つ選んでね」

行事予定

- ★3月20日(土)、田原町ボランティア連絡協議会主催の研修会「みんなで取り組む自主防災・防災活動について」、黒瀬アライヴァーとして参加します。
- ★3月22日(水)、奈良県安全安心課主催「安全・安心まちづくりチャレンジ事業」報告会に参加します。
場所:奈良職工会議所6階大ホール 13:30~16:50
- ★4月25日(日)「へべり精代祭り」の模擬店(連の駅)に出店します。

地球の友

- 平群町婦人会
- 平群町児童会
- 手のひらの会
- 豊田山ネット
- 平群町のまちづくりを考える会
- 平群登山クラブ
- COOK81
- 友誼クラブ

ホームページ

http://www18.ocn.ne.jp/~boran/

桃俣防災団(御杖村)

団体の概要

項目	内容
世帯数・人口	
◇世帯数	(平成22年4月現在) 95世帯
◇人口	195人
◇内65歳以上人口(高齢化率)	114人 (58.5 %)
地域の特徴	
◇まちの特徴	南に1000m近い高見山系が連なり、その上流から桃俣が北に流れて、集落は桃俣川沿に形成されている。地域住民の半数以上が65歳以上と村内においても最も高齢化率の高い地区である。
◇過去の災害、想定される災害	【過去の災害】 伊勢湾台風(昭和34年)において甚大な被害 【想定される災害】 土砂災害(山崩れ、土石流)等

設立年月日	平成17年6月25日
設立のきっかけ	毎年のように全国各地で発生する地震・集中豪雨等によって災害時要援護者といわれる高齢者が犠牲となっている中、高齢化率が村内で最も高い当該地域住民の災害に対する危機意識の高揚と自分たちの地域は自分たちで守るという気運が高まり住民の総意のもと設立
目的・キャッチフレーズ	みんなの力で「自分を」・「家族を」・「地域を」守る
予算規模	・3～5万円 (自治会からの助成金)
主な活動内容	
◇防災活動	・避難誘導訓練 ・消火訓練・防災資機材点検・消防水利点検・危険箇所点検・防災講習会・機関誌の発行(防災知識の普及)等
主な連携先	・宇陀広域消防組合・御杖村消防団 (地域内:老人クラブ・民生委員)

桃俣防災団（御杖村）

①地域の特性

桃俣地区は村内4箇所ある地区の中で最も人口の少ない地区であり平成22年4月現在で95世帯、195人となっています。

また、村全体で過疎化による少子高齢化が進む中、この地区は65歳以上の高齢者が114人と地区人口の約60%を占めており村内でも最も高齢化率の高い地区となっています。

集落は地区の南北に流れる桃俣川沿いに形成されていますが、そのまわりを1000m級の高見山系等の山々が囲み、地区内には急傾斜崩壊警戒区域や土石流警戒区域といった土砂災害警戒危険区域に指定されており、毎年台風等の出水時には土砂災害等による災害の発生が懸念されています。

②活動内容

毎年、全国各地で発生する地震・集中豪雨等によって、災害時要援護者といわれる高齢者の方が犠牲となっている中、高齢化率が約60%の地区住民の災害に対する危機感が高まり、みんなの力で「自分を」・「家族を」・「地域を」を守るをモットーに平成17年6月に住民総意のもと自主防災組織「桃俣防災団」が誕生しました。

年間の活動としては地区住民全員参加の防災訓練・防災講習会を実施するとともに、年数回発行する「桃俣防災だより」により住民の防災意識の高揚、知識の習得等に取り組んでいます。

また、少ない予算の中でなかなか進まなかった防災資機材整備を平成21年宝くじ助成事業の採択を受け一括購入したことを契機に、これら資機材を災害発生時に有効活用できるよう定期点検また取扱方法の習得にも取り組んでいます。

（これまで実施した主な活動）

- 防災訓練（救出救護・避難誘導・初期消火・応急手当・給食給水）
- 防災講演会
- 地区内危険箇所一斉点検
- 「桃俣防災だより」の発行
- 緊急救助活動調査
- 防災資機材点検・取扱説明会

③セールスポイント

住民一人ひとりの災害に対する危機意識が非常に高く、防災訓練や講習会の実施を呼びかけるとほとんどの住民がご近所を誘い合わせて参加します。

また災害時要援護者の方も、安否確認や救出訓練に協力してくれます。

④今後の課題

高齢化率が高いこの地区での活動は元気な高齢者が身体の不自由な高齢者を支援することで成り立っていますが、年々支援が必要な高齢者が増えていく中で、このような活動をいかに継続していくかが課題となっています。

⑤参考資料（別紙）

- ・ 桃俣防災団だより
- ・ 防災訓練実施要領（平成 19 年度）
- ・ 緊急救助活動調査表

⑥活動写真（別紙）

- ・ 防災講習会
- ・ 防災資機材（平成 21 年度宝くじ助成事業）

日本列島、各地で災害が続発…

新潟での地震災害、九州で続く豪雨災害などと、今年も 天地異変が、日本列島の各地を襲っています。異常気象による局地的豪雨や台風が発生、そしてエネルギー蓄積が限界に近づく、各地の活断層… “奈良県だけは、大丈夫～！”と安心できない状況です。もしもの被害を、私達に出来る備えで少しでも防ぐ事が出来たらと思います。



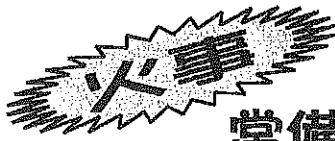
早めの避難が、命を守る!

気象情報に注意し、台風・洪水・土石流に備え避難の手順を確認しておきましょう



タンスの傍に寝ない事!

枕元には懐中電灯、頭に座布団、そして扉の少ない逃げ道を…



常備しよう、バケツ一杯の水!

燃えるもの、ストーブから離して (古鉢)
急には急の、火の始末…

- ◆桃俣防災団にトランシバー (三台)が、常備されました。防災パトロールなどに、ご利用下さい。
(消防団・旧屯所の二階に用意してあります)
- ◆救急医薬品箱も用意していますので緊急時の怪我の手当てなどに、ご利用下さい。

スズメ蜂 に注意しよう!



左の写真のような茶色や黒褐色をした
マーブル(大理石)模様の巣は、スズメ蜂の巣です。
キロススズメ蜂は攻撃性が強く、木の枝や軒下
床下などに巣を作ります...
コガタスズメ蜂は樹木に多く作ります...



対策① 黒っぽいものを攻撃します。白い服装や帽子をかぶりましょう

対策② 蜂は匂いに敏感です。化粧・ヘアスプレーは控えましょう

対策③ ヒラヒラするもの、純毛製のものも蜂を刺激します



スズメ蜂を見かけたら!

蜂は左右や急激な動きには敏感です。大声を出さずにゆっくりとその場を
離れましょう...



スズメ蜂に刺されたら!

刺された部分を両手の指で強くつまんで 毒を搾り出しながら水で洗い流します
氷か冷水で冷やし、あれば抗ヒスタミン剤入りステロイド軟膏を塗って応急処置をする。

呼吸困難などのアレルギーショックを感じたら、すぐに病院(救急車)へ...

診療所を利用する場合は、まず電話で医師の在・不在を確認してください。

* 村では、毎年数人の被害があるそうです

ペットボトルを利用した蜂の捕獲器

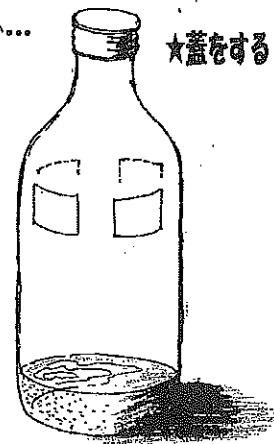
身近でスズメ蜂の巣を見かけたら、一度お試しになられたら如何ですか...

近づくと危険です! 10メートルほど離れた場所でも

蜂は寄ってくるそうです。

★2センチ×2センチの切り抜き穴を
3~4個あけます

★日本酒・酢・砂糖を1:1:1で
混ぜます



防護服の貸し出し

村では、スズメバチ用の防護服を貸し出しています。

ヘルメット・上下服・手袋・長靴がセットになっています...サイズは、大・小があります。

住民生活グループへ申請してください

* 病院でハチアレルギーの検査ができます。アレルギー体質の人はショックのため刺されて15~30分後に
亡くなるケースもあります...むやみに作業を行うと危険です。注意点を確認・厳守してください。

防災訓練実施（大地震発生直後を想定）

中越地震「山古志村」を想定し、命を第一に考えて

桃俣防災団

まず組単位で防災団員が中心となり、区民の協力を得て活動 （協力可能な区民に適切に指示をする）

- ①-1 消火 [区民の協力を得て初期消火]
 - 消火器使用（今回は消火剤は使用しない）
 - 消火栓使用 最低3名（今回は放水しない）
 - 119（今回はしない）と本部に連絡
- ①-2 救出・救護 [区民の協力を得て。用具・医薬品は各組で]
 - 1. 負傷者（まず重傷者） 2. 下敷き者 3. 生き埋め者
 - 救護は現場で応急手当後医療機関へ搬送 [状況では避難所へ]
 - 119（今回はしない）と本部に連絡
 - （今回は、救出・救護の防災団員及び区民の活動は形式的なものとする。負傷者の搬送も行わない。）
- ①-3 情報の収集・伝達 [区民の協力を得てまず消火・救出を主に]
 - 組内及び本部に連絡
- ④ 避難誘導（指定避難所を主に）
 - 災害弱者（介助必要）への対応
- ⑤ 給食・給水（桃俣多目的研修センターで炊きだし）

- 1. 実施日 平成19年5月20日（日曜日）午後3時～5時
 - ◎ 開始の知らせは防災無線で（午後3時）
- 2. 参加者 防災団員及び区民協力者
- 3. 災害状況 訓練であるので、被害状況を次のように限定する。
 - 救出者各組で1件（各組長宅）
 - 消防署要請 西出 [西田富也宅]（119は本部より）
 - 出火各組で1件
 - 上 [柚山安敏宅] 組で消火完了（119無し）
 - 下 [岡本秀勝宅] 消防署要請（119は本部より）
 - 家屋の倒半壊や山・崖崩れは発生しているが、
交通・電気・水道・電話は使用可能。
- 4. 避難誘導 災害弱者への対応を含め、避難誘導の確認にとどめる。
 - ◎ 訓練終了の知らせは防災無線で（4時20分）
- 5. 反省会 4時40分より桃俣多目的研修センターで
参加者は防災団員及び区民（希望者）
- 6. 区民へ
 - 「田休み祭」のチラシと同時に全戸配布
 - 無線放送で（当日昼の放送で）

緊急救助活動調査表（桃俣区民専用）

同居家族の名前 又は何人暮らし？	世帯主：	何人暮らし
所在組名/電話番号	組 ☎0745-95-	
現在の状況で避難 に支援が必要ですか？	必要	必要ない
電話での会話はで きますますか？	できる	できない
緊急連絡先は？	第1：名前 (続柄) ☎ 第2：名前 (続柄) ☎	
家の近くに防災団 員がいますか？	いる	いない
避難場所を知っ ていますか？	知っている	知らない
発災時に備え、非常 持ち出しの準備がで きていますか？	できている	できていない
防災団への要望・ ご意見等 記入欄		

- 1 「この調査に対する回答は」、任意です。
- 2 調査資料は、防災活動目的以外に使用しません。
- 3 ご協力ありがとうございました。

☆ 問い合わせ先
事務局（谷村：0745-95-3053 20:00以降）

2010/11/22
桃俣防災団事務局

防災講習会



防災資機材写真（平成21年度宝くじ助成事業）



No.	資機材名	No.	資機材名
①	担 架	⑦	発電機
②	ワンタッチ救急リヤカー	⑧	チェーンソー
③	パック毛布	⑨	救急セット
④	メガホン（サイレン付）	⑩	ラジオ付ライト
⑤	投光器（ハロゲンバルブ付）	⑪	トランシーバー
⑥	ガソリン携行缶	⑫	災害工具セット